

平成24年度

昭島市事務事業外部評価報告書(案)

平成24年 月

昭島市事務事業外部評価委員会

## は じ め に

昨年度、プレ実施という位置づけで実施した事務事業外部評価は、本年度から委員会の公募市民員を1名から2名と増員し、6人体制で本格実施することとなりました。

委員会では、プレ実施の経験を踏まえ、事業の担当セクションに偏りが無いように配慮し、市民に関心が高いと思われる事業を中心に、16事業を候補として選定いたしました。また、評価に先立ち、事業担当課から説明や資料の提供を受けるとともに、必要な事業については現場視察を行い、評価をする上で必要となる知識や情報の取得に努め、十分な準備のもと、評価に臨みました。

8月下旬から10月上旬にかけて、5回開催した外部評価では、既に実施された内部評価の結果も踏まえ、事業担当課の職員と直接意見を交換し、事業の必要性、妥当性、有効性及び効率性について、できる限り客観的な立場で評価を行いました。委員会の目的の一つである、「事業担当職員に対し市民感覚を伝える」ことを念頭に、それぞれが持つ知識と経験を活かし、公平な評価が実施できたものと考えています。

ここに評価結果をまとめましたので、報告いたします。この結果については、昭島市として十分に受け止めていただき、次年度以降の予算に反映するなど、今後の取組の中で活かしていただければ幸いです。

最後になりましたが、評価の当日に傍聴していただいた市民の皆様や評価の過程でヒアリングに対応いただいた担当者など、多くの皆様にご協力いただきましたことに、委員一同感謝申し上げます。

平成24年10月26日

昭島市事務事業外部評価委員会

委員長 座 間 康 臣

事業番号1 男女共同参画事業

評価実施日： 9月 1日（土）	担当課：企画部 企画政策室
-----------------	---------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>男女共同参画という息の長い重要な課題であると思われるが、市民に普及しているかどうかは測ることが難しい。日本経済低迷の中、女性の能力の活用は課題となっており、この事業への男性の理解や参加も不可欠である。</p> <p>今後の方向性としては、企業や教育現場への啓発活動の実施、セミナー・講演会への男性参加率向上対策、相談業務の拡充(土曜日・日曜日の実施)の検討が挙げられる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	4	3	3	2	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
出雲委員	3	3	2	3	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
松本委員	3	3	2	3	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
村上委員	5	5	2	2	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
和田委員	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
委員平均	3.8	3.7	2.5	2.7	12.7	
内部評価の今後の方向性						A：成果拡大に向けて実施方法を見直し

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○息の長い重要な課題、従来の施策に加えて行政の立場から</p> <p>(1) 企業グループへの連携強化</p> <p>(2) 教育の観点から若い層へのアプローチが重要。</p> <p>①中、高教育への支援・協力 ②幼、小、中、高の保護者（PTA） ③ウィズユース</p> <p>上記①～③の講演会等での対応が考えられる。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○男性の参加や理解が必要。男女共同参画と銘打った事業には男性が参加しにくいのではないかと。</p> <p>○男女共同とは別の切り口で事業を展開することも考えていくべきである。</p> <p>○男性が多く参加することが不可欠である。その対策を考えるべきである（動員するなど）。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○相談業務は市の行政サービスの橋渡しとなる可能性があるため、予約の状況によって、平日1日、土日1日程度あると良いのではないかと。  
○その他、講演会、セミナー、参画ルームについては、個人的には大きな成果が得られるとは考えにくく、何かの節目に合わせた数年に一度、大規模なインパクトのあるものとするのが良いのではないかと。  
○市内の男女共同参画は、事業のあるなしに関わらず行われるものである。よって、相談業務、計画の策定が継続した事業内容としては望ましいと思う。（人の考え方の変革は、教育か、より広域での対応の方が成果が得られると思う）

【松本委員】

○有効性については効果を測れないということから辛口の点数。  
○セミナー、講演会の男性参加率を上げるについては、男性が参加したくなるセミナーや講師の選定が不可欠。男性職員を入れた市内ワークショップなどを企画し、男性視点を探る、また、教育の場での男女共同参画の視点のPRなどを考えてほしい。  
○企業に対する啓発は、女性役職者の増加はもちろんのことですが、モラハラ、セクハラ、パワハラなど各種ハラスメントへの周知をお願いしたい。  
○「Hi,あきしま」編集委員は女性のみなので1号は女性のみ1号は男性のみの編集にしてみるの新たな事業になるかと思う。

【村上委員】

○長期に亘る日本経済の低迷の中、女性の能力の活用は喫緊の課題であり必要性は高い。  
○計画の評価は毎年の実績評価、マスタープランの適宜の見直しが実施されているが定量的評価だけでなく、定性的評価の仕組みづくりと毎年の設定目標達成に向けた詳細な実行計画の策定が待たれる。  
○市内所在の企業に対する啓発活動は今後待つのところであり、各種アンケート調査の実施等具体的な検討と実施が急がれる。  
○小中学校に於けるジェンダー教育等にも副読本等の作成、配布等を通じた取組も期待したい。

【和田委員】

○この事業については特に男性へのPR強化及び参加が不可欠である。まず、「Hi,あきしま」の編集委員に男性を加えていただきたい。  
○男女共同参画プランの主要施策について、その年度ごとの実行計画を整備してフロー/チェック/まとめの活動展開をしていただきたい。

事業番号2 住民情報システム管理

評価実施日： 9月 29日 (土)	担当課：総務部 情報推進課
-------------------	---------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>行政サービスの根幹を担うシステムであり、必要性は非常に高いが、委託費等システムに係るコストの妥当性を判断することは難しい。</p> <p>今後の方向性としては、市町村間での連携を密にし、情報交換を行える体制を維持することによって、常に性能やコストが妥当であるかを検証し、それに携わる職員の事務の更なる効率化・迅速化を図ること、また、災害時・非常時にも市民の情報を損なうことなく安定的に運用していくことが求められる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	5	4	4	18	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
佐久間副委員長	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
出雲委員	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
松本委員	5	4	3	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
村上委員	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
和田委員	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
委員平均	5	4.2	3.8	3.5	16.5	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○委託費等が適正かどうかが見えにくい部分だけに、他市との情報交換、専門家のチェック等による常に検証が必要である。</p> <p>○災害時、非常時に備えた研修等の継続的实施へ。</p> <p>○職員（専門職）の養成。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○かつて職員が手作業で行っていた業務をコンピューター処理をしているので、不可欠である。</p> <p>○計算センターで各市共同で住民データを管理することも視野に入れていく。</p> <p>○災害などいざという時のバックアップシステムが同じ庁舎内にあるのが気になる。他市の実態を調査研究する。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○委託やシステム全体にかかる費用などその妥当性は分からないが安価に抑制しているということであり、良いのではないかと思います。ただ、システムの数が多く、縦割りの状況になっていて、これほどまでにシステムが必要なものかという疑問がある。業者の乱立が価格競争につながればよいが、混乱をもたらしているように感じる。  
○システム導入時に庁内での調整が行われればよいと思う。

【松本委員】

○導入したばかりの新しいシステムでまだ初期投資費用がしばらくかかるため、様子を見て業務を継続していくほかはないと思う。  
○リース料5年は厳しいが、良いシステムを入れたのだと評価できるように前のシステムとのコストダウン検証は必ず行ってほしい、また、新システムによる運営費（選挙人名簿の作成など）で威力を発揮できるか大きな期待をしてみている。  
○常駐SEが本当に必要かどうか、委託費が不透明なのでしっかりと説明責任を果たせるようにしてほしい。

【村上委員】

○市民の個人情報の保護管理業務と迅速な行政サービスの推進に不可欠であり、必要性は高い。  
○災害発生時対応策については現時点で想定しうるバックアップ、復旧体制の構築や訓練の実施がされているが昨年の3.11に鑑みて、現在の想定を超える事態の発生にも備える取組の検討と実施が待たれる。  
○効果的な運用とコスト削減に関する意識は高く、制度的に各種取組も実施しているが、運用委託費や機器のリース料等のブラックボックス化を避けるさらなる取組が期待される。

【和田委員】

○H23年度に当該システムの入替が開始され、H24年度完了とのこと。入替の目標である効果が計画通り達成されたかの検証と確認及びそのフォローを確実に願います。  
○情報化推進5カ年計画はH26年度完了ですがそこでの目標とするランニングコスト低減/人員削減の数値を明確にし、その達成を期していただきたい。

事業番号3 災害対策事業

評価実施日： 10月 4日 (木)	担当課：総務部 防災課
-------------------	-------------

<p>現状と今後の方向性に関する意見</p> <p>市民の安全・安心を確保する上で必須の事業であり、東日本大震災を受けて、必要性は益々高まっている。</p> <p>今後の方向性として、防災計画の策定、訓練・研修会の実施等、それぞれの項目で弱者の意見も取り入れられる仕組みづくりや市民の防災意識を向上させるための取組みは喫緊の課題である。事業の内容も多岐にわたっていることから、委託が可能な部分は委託化をすすめ、その他の事務の部分には人的配慮が望まれる。庁内のみならず他市や企業とも連携を図り、災害に強いまちづくりを推進していただきたい。</p>
--

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	3	3	15	■拡充 □一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 事業規模の拡大・充実
佐久間副委員長	4	4	5	4	17	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 成果拡大に向けて実施方法を見直し
出雲委員	5	3	4	4	16	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 実施方法の見直し
松本委員	5	5	3	4	17	■拡充 □一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 事業規模の拡大・充実
村上委員	5	5	3	3	16	■拡充 □一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 事業規模の拡大・充実
和田委員	5	4	4	4	17	■拡充 □一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 事業規模の拡大・充実
委員平均	4.8	4.2	3.7	3.7	16.3	
内部評価の今後の方向性						E：現状を維持

<p>評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）</p> <p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○最重要課題である。 ○増員を行い総合防災力アップのため効果的な事業の充実を図りたい。</p> <p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○いざという時に備蓄庫のものはどうやって市民に配られるのか、飲料水はどうしたら手に入るか等市民への周知を普段から行うべきである。 ○防災訓練を小学校区域で行い、5年に1度くらい各小学校区で防災訓練を行うようにすべきである。 ○いざという時のために、市民の意識を向上させるための努力をしていくべきである。</p>
---

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○他事業との関連が大きく全体としてつかみにくい中ではあるが、より啓発や指導など人的コストを必要とする分野であるようなので、定型的業務はさらなる委託を進める中で、人による事務事業を展開されることが望ましいと思う。その中で、他部署や企業、他市との連携を更に進めていく必要があると思う。

【松本委員】

○防災に強いまちづくりのためには、対策費をつぎ込んでも市民は理解してくれると思う。  
○25年にマニュアルを作り各戸配布した後の施策も必要と考える。  
○事業はもちろん市が行うものだが、自治会に入会していない市民への啓発は力を入れてほしいと思う。防災ニュースなどの発行を新たに考えるなど（水道日より、リサイクル通信の裏を利用してPR活動するなど）、災害マップ、マニュアルの他にも、他部署とジョイントできる事は全てやってみるなど工夫ができると思う。  
○市がすべてをカバーしてくれると自治会の会員でも思っている節がある。そこを変えていくのは至難の業。しかし、防災意識が薄れないうちに着手してほしい。  
○今一番ホットな事業であるからコストを考え消極的になることなくあたっていくべきと考える。

【村上委員】

○災害時に市民の生命・財産を守り災害の拡大を防ぐ取組みは必須であり、質量ともに更なる拡充が求められる。  
○防災計画に女性や高齢者のアイデア、意見を取り入れる仕組みの構築が急がれる。  
○各種取組、施策の情報の市民への伝達方法や市民の防災意識の啓蒙に更なる取組みが期待される。  
○木造住宅耐震補助事業等防災に関わる施策が担当部毎に適宜実施されているが、各担当課を横断的に組織化した市としての効率的かつ総合的な防災力向上と総合の誤謬が生じることのない仕組みの構築が急がれる。

【和田委員】

○H23年度での当事業については決算額が予算額より増大しているが、現下の状況では妥当と判断できる。  
○しかし今年度に入り立川断層地震による市内の想定被害は現行の地域防災計画の前提を大幅に上回っている。これへの対応策の立案は今年度中にまとめる必要がある。  
○地震に対する又、その防災に対する市民への情報提供をもっと幅広く深くすることが求められる。

事業番号 4 勤労商工市民センター管理運営事業

評価実施日： 8月 20日 (月)	担当課：市民部 生活コミュニティ課
-------------------	-------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>勤労者福祉の向上を目的として建てられたものを東京都から移管されたが、その目的に沿った利用がなされていないのが現状である。就職情報室の開設に関しては評価できるが、会議室などは市立会館と同様の扱い(但し有料)となっている。</p> <p>今後の方向性としては、中小企業への会議室の貸し出しをPRする、就職説明会、セミナーの実施など、目的に沿った利用の促進が望ましい。また、施設の老朽化も進んでいるので、改廃も検討課題となってくる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	3	3	3	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業内容の見直し・コスト改善に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	2	2	3	2	9	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 目的に妥当性なし
出雲委員	3	2	2	1	8	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
松本委員	3	3	2	2	10	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
村上委員	3	2	3	2	10	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 新たな事業展開
和田委員	3	3	3	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業内容の見直し・実施方法見直し
委員平均	2.8	2.5	2.6	1.8	9.8	
内部評価の今後の方向性						E：現状を維持

評価にあたってのコメント (評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など)
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○東京都から移管された「建物ありき」でのスタート          ○ハローワーク、「昭島就職情報室」の開設は評価できる。          ○当初の目的は相当失われているのではないかと思われ、「建物ありき」を前提に当分の間の効率的利用について再検討の必要あり。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○都の施設の移管を受けたのでやむを得ないが、多くの市にはこのような施設はないのではないか。          ○商工会、勤労共済会などは本来自分たちで事務所を設置すべきで、施設使用料の減免はすべきでない。          ○土地の契約(30年)ということはあるが、老朽化してくる施設については改修はしないで廃止を今から考えておくべきである(施設の作りすぎが財政を圧迫している)。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○勤労に関する施設は必要性は高く、利用によっては有効なものとなると思われるが、場の提供という現在の位置付けであれば、廃止あるいは、開館時間の縮小が望ましい。  
○但し、場の提供ではなく、就労の機会につながったり、スキルを身につけることができるのであれば、東京都との20年間の契約内で継続することも考えられるが、その場合には所管を変えて、産業団体などと密に運営していくことが望ましい。

【松本委員】

○勤労者のためと都から移管されたものの、その目的がブレてしまって事業者にも有効活用されていないように感じる。あと10年土地利用料が無料であればその後手放すことも視野に入れて活用方法の変更や工夫を思い切って実行しても良いのではないか。  
○事業者にも優先権、割引を与えるなど商工会を通して市内事業者へのPRを積極的にやるのはどうか。雇用支援、若者支援など将来の勤労者の為の工夫を東京都と協力してできないか。  
○Facebook活用セミナーを行い、参加した人から為になったと聞く。セミナーは無料だったそうだが、有料にすることも企業に案内することも必要だと思う。

【村上委員】

○産業の活性化、勤労者の福祉向上という本来の目的に沿い、新たな事業展開を図るべき思案。  
○他市の状況から、施設の必要性についても検討の必要ありと思案されるが、昭島市独自の就労支援、零細企業の振興及びその従業者福祉の場としての具体施策の実施が求められる。  
○商工会就労支援（ハローワーク）と連携した取り組みの積極的推進を図ることが求められる。

【和田委員】

○土地・建物は都の所有（無償貸与）、使用条件もあり、現在この形態で有料の市立会館的事務運営を図っている。このことがこのセンターの性格をあいまいにしている。よってこのセンターの役割とは何か、その上でどう運営するのかしないのかを抜本的に再検討すべき時期と判断する。

事業番号5 観光産業振興推進事業

評価実施日： 9月 29日 (土)	担当課：市民部 産業活性化室
-------------------	----------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>新規事業であり、昭島の産業の発展のために必要性は理解できるが、全国各地で行われている観光まちおこしの事業に成功事例は少なく、それらをみても観光の目玉が必要であるように思われる。</p> <p>今後の方向性としては、当面は市が積極的に観光まちづくり協会のサポートに努め、協会の自主財源を確保できる事業を見出し、協会に対する補助金は運営費への補助から事業費への補助にシフトしていくこと、自然環境、文化・芸能などの中で潜在的な観光資源を発掘し、それを活用させ、市外からも観光客を呼べるような体制を整えていただきたい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	3	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	4	4	3	3	14	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の拡大・充実
出雲委員	3	3	3	3	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
松本委員	5	3	2	2	12	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コストを考へつつ市の事業の集約と新たな展開
村上委員	5	4	2	2	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
和田委員	5	4	3	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
委員平均	4.5	3.7	2.7	2.7	13.5	
内部評価の今後の方向性						B：コスト改善に向けて実施方法を見直し

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○新スタートの事業で必要性も理解できる。新事業の展開を行う一方、諸経費の効率的使用に努め、補助金、委託費支出の改善にも努力。 ○3年、5年という期間での点検・評価が必要。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○観光事業は市が直接行うのではなく、関係する団体や人が率先して行うべきものではないか。 ○観光の目玉となるものを考えていく（市外の人を呼べるようなもの）。 ○観光事業は、市や市民の利潤につながるものを考えていくべきである。 ○一朝一夕には難しいので、今後も継続して取り組んでいくべきものである。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○自主財源についてはなお、増加に向けた努力が望まれる。補助については原則として、事業活動費に対する補助（運営ではなく）に重点化するのが望ましいのではないかと思う。運営は商工会のやり方を観光にそのまま持ち込むのではなく、別組織を作った以上、別のやり方（具体的には企業よりも市民を巻き込む仕組み）とすることが望ましいと思う。市として方針を定め、協会の運営をサポートすべき。

【松本委員】

○新しく立ち上がった事業であり、発展の可能性は大いにある。市内のポテンシャルを見出す工夫が必要と感じる。協会の事業部会では市業務より観光に吸収できる事業を集約する部門と新規事業部門が必要であり、協会が軌道に乗るまでの積極的なアドバイスをする必要がある。市民活動団体には環境、文化、芸能、教育の各分野に関わる団体があり、そこからの情報収集が可能では。会員拡大のためのメリットの発見を。昭島の資源は“水”と“井戸”と思う。昭島の水の会員限定販売などのアイデアを。企業の見学など大人の社会見学や高齢者、子供向けのイベントなど効果が全市に波及するようなイベントの分散化、昨年からはまったチャレンジデーや産業まつり、青少年フェスティバルにコース見学などをぶつけるなどの試行をしてほしい。

【村上委員】

○観光協会が事業の振興、推進に主体的に取り組むことが重要であるが、現在の揺籃期の中では、効率的、効果的な運営に繋がる経費削減、情報収集等に市が主導的に関わることで更に求められる。  
○協会そのものの存在やイベント開催の情報発信にケーブルテレビやFM放送等をパブリシティとして活用することが期待される。  
○会員増、イベント企画に既会員である商工会会員、福祉事業者との連携を強めるとともに、町あるきコースの見学対象である企業にも企業市民としての取組みを要請することが望まれる。

【和田委員】

○現在、全国市町村で観光まちおこしをしており、成功事例は多くない。  
○昭島市でもスタート2年目に入り、いろいろ網羅的（産業/自然/文化etc.）に取り組まれているが昭島市としての特徴あるものは何かを絞り込んで重点志向で取組みを望みます（まずは自然＝水のアピール）。  
○JR東、西武鉄道とのタイアップは不可欠であり、この点への展開は今から取り組んでほしい。

事業番号6 老人ホーム入所援護事業

評価実施日： 9月 26日 (水)	担当課：保健福祉部 介護福祉課
-------------------	-----------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>老人福祉法に基づく事業であり、措置費も1人当たりのコストが施設ごとに決められているため市の裁量は非常に少ないが、生活困窮者を擁護し措置することは必要である。</p> <p>今後の方向性としては、国がこの事業に対し、適切な負担をするよう要請し続けること、また、社会全体で措置を必要とする対象者を低減していくように自立支援などの取組みを進めていくことが考えられる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	5	5	4	19	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 適切な事業執行ができています
佐久間副委員長	4	4	4	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
出雲委員	5	4	4	1	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
松本委員	5	5	5	3	18	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
村上委員	5	4	4	2	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
和田委員	4	4	4	4	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
委員平均	4.7	4.3	4.3	2.8	16.2	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○法で定められた事業であり、改善の余地は乏しい。あえて言えば費用負担すべき入所者からの未収がないよう対応すること。 ○このような人が発生しないことを望む。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○措置が必要な人をケアする事業として必要性は大きい。 ○老人福祉法に則った事業であるので、国はきちんと事業に向けた負担をすべきである。この点を継続して国や都に申し入れるべきである。 ○介護保険の認定ができないか、常に注意しておく。 ○老人ホームの実態について、視察等を定期的に行う。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○法律に基づく措置であり、市による政策的な対応の幅が狭くなっているが、できることがあるとすれば自立支援であり、虐待者の場合には家庭に戻ることを支援・強化していく方法くらいのように思われる。

【松本委員】

○これも公共しかできない事業と判断しました。  
○対象者がこれ以上増えて、自治体ができるのかと問われたら難しい問題ですが、憲法で保障されている生存権にも関わる問題でもありますから、現状維持をぜひお願いしたいと思います。  
○ただ、入所者数が適正なのか、他に保護すべき人がいないのかという不安は常にありますので、今後も細かいフォローを市内でお願いします。  
○国への要請とともに社会で支えるべき問題であると思います。

【村上委員】

○社会全体で生活困窮者の人権と生活を擁護し、措置することは必要である。  
○活力ある高齢社会の創造に向け、入居者の自立支援やコスト削減に向けた取組に、事業者に対し、市としての更なる指導力の発揮が期待される。

【和田委員】

○この事業は法律に基づく事業であり、市業務としての裁量の範囲は殆どない。  
○今後は入所者の低減に向けた視点で何ができるか対処してほしい。

事業番号7 市立保育園維持管理

評価実施日： 9月 1日 (土)	担当課：子ども家庭部 子育て支援課
------------------	-------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>待機児対策や一時保育の実施などで市立保育園の必要性は認められるものの、民間に比べ人件費が高く、高コスト体質になっていると思われるので、基本的な保育内容に私立と差がないのであれば民営化を進めるべきである。</p> <p>今後の方向性としては、待機児解消施策、一時保育の実施、私立との差別化(市立ならではの保育を実施する)等、利用者の満足度を高める方策の検討が考えられる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法の見直し
佐久間副委員長	4	3	3	3	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 2園のうち1園は民営化
出雲委員	4	3	3	3	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業内容の見直し
松本委員	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 存続理由の追求と個別化
村上委員	2	2	3	1	8	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 民間で行うべき
和田委員	2	2	4	2	10	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 民間で行うべき
委員平均	3.5	3	3.3	2.7	12.5	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント (評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など)
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○市立の存続は認めながらも人件費の効率化等にむけての継続した施策が必要。                      ○待機児童解消のための施策の推進。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○市立保育園を直営で運営するのは1園でいいのではないかと → 病後児保育など特別な状況にある児童の一時保育などには公立保育園は欠かせないが、一般の保育は民間活力を導入したほうがいいのではないかと。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○運営については法律の縛りもあると思われるし、公立を2園程度は残した方が市で保育の一定機能を維持できるという点も理解できるが、私立保育園と比べて公立保育園には特徴があるという状態でなければ、存続させていく根拠が乏しくなるのではないか。0～2歳保育を補完する、小学校と連携する、私立とは別の専門性を持つ、など。また、私立保育園が必要としている情報を提供し、私立側から存続を求める声があるなど。

【松本委員】

○児童福祉法の事業実施義務があり、必要性は大いにある。  
○事業の拡充の方向は待機児童の減少を目指してほしい。  
○労働人口の減少から女性の就業率は増加傾向が予想される。  
○自宅に近いから入園させるということもあるだろうが市立保育園だから入園させたいという付加価値が今後園を存続させるためにも必要となってくる。  
○緑化の取組みや地域への活動拠点としてできることを研究してもらいたい。存在の意義は十分にあると思う。また、市独自のCS調査の実施で存続の裏付けと問題点の割り出しをしてほしい。

【村上委員】

○民間に比べ職員の平均年齢、給与水準が高いことに加えて、提供サービスの質の確保に向けた多様な臨時職員等、高コスト体質となっていると思われる。  
○組織運営に市が関わることで意思決定のヒエラルキーが増え、スピーディな取組みに問題無しとしない。  
○財務状況や利用者満足度調査の公表等の経営の透明性確保に向けた取組みが喫緊の課題となっている。  
○以上、より効率的、且つ利用者満足度向上に向け、指定管理者制度の導入等民間移行が求められる。

【和田委員】

○市立保育（2園）の定員は私立を含めた市全体の8%である。また、保育内容も基本的な面での差はない。よって、今後5年位を目途に全面私立へ移管し、市の負担（特に人件費）を軽くすべきである。  
○市業務としては、待機児童対策、0～1歳児対策、一時保育対策により投入すべきと考える。

事業番号8 遊び場対策事業

評価実施日： 10月 4日 (木)	担当課：子ども家庭部 子ども育成課
-------------------	-------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>遊び場が近くにない子どもたちのための場の確保というのが当初の目的であったが、児童遊園や公園が整備され、少子化が進み、その目的は終わったように見受けられる。</p> <p>今後の方向性としては、利用者や近隣住民の意見を基に、その場所を目的に沿った形に転用していくことが考えられる。その際、担当部署を一元化し児童遊園や公園とともに統一的に管理できるような体制となるのが望ましい。また、砂場の砂の補助に関しては衛生面への配慮をしていくとともに、公的負担がふさわしいかの検討も進めていただきたい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	2	2	2	3	9	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 目的に妥当性なし
佐久間副委員長	4	3	2	3	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
出雲委員	2	4	3	5	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
松本委員	3	5	4	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
村上委員	2	3	3	3	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
和田委員	2	3	2	3	10	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 目的に妥当性なし
委員平均	2.5	3.3	2.7	3.3	11.8	
内部評価の今後の方向性						D：縮小・廃止

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○内部評価でも縮小・廃止である。</p> <p>○設置から長期間経過した場所もあり、少子化の進捗や近隣の児童遊園・公園の増設もあり、当初の必要性は乏しくなっている。</p> <p>○砂場利用については公的負担がふさわしいかの調整も必要。</p> <p>○何れの事業も廃止の方向で対処し、遊び場については総合的な広場管理という中で必要なら対応したらよい。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○市民が子どもを遊ばせる場所を用意すること、あるいは必要となる砂場の砂補充の補助をしてあげることなので、必要なことと思われる。</p> <p>○犬や猫の糞で砂場の衛生面が問題視されていることに留意していくべきである。</p> <p>○他の児童遊園や公園等と一体的にケアしていくべきである。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○街の中に一定の空間は必要で自治会の協力もありコストが抑制されているところではあるが、目的外使用が定着するとあらゆる事業が存続してしまうため、目的に沿って見直していくことが望ましいと思う。

【松本委員】

○事業を続けるのであれば、市がやるべき事業かと思う。  
○管理団体への聞き取り調査などを実施して子ども広場としての特色が強いか、それともコミュニティ広場としての色が強いかの判断は必要かと思う。その判断により子ども家庭部からコミュニティ課、管理課への移行が必要な物件もあるだろうし、廃止の事業も出てくるかと思う。  
○コストとしては低い額なので、市民の要望によってはあっても良いと思う。子育て支援課、子ども育成課、管理課に事業を1つにまとめ、コストの削減を図るくらいしか、コスト減は見込めないと思う。

【村上委員】

○現在の遊び場のいずれもが所期の目的を終えており、また児童遊園維持管理事業と一部重複していることから、廃止を視野に入れた事業規模の縮小の検討、実施が待たれる。  
○利用者や近隣住民の意見等を基に、コミュニティ広場や災害時の一時避難場所等への転用等検討が待たれる。

【和田委員】

○児童数の減少、保育園・幼稚園の充実、近くに各種公園etc.があることから子ども遊び場としては廃止が望ましい。  
○しかし現在、他の目的（地域のおまつり用とか）が確認できればそれへ転換することもありうる。  
○砂の補充についても一旦やめると各自治会に提案してみしてほしい。

事業番号9 ごみ収集事業

評価実施日： 9月 26日 (水)	担当課：環境部 清掃センター
-------------------	----------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>平成14年4月の家庭ごみ有料化実施以来、これまでごみの減量化、業務の委託化をすすめ、コスト削減に尽力してきたことは評価でき、この事業の必要性もおおいに認められる。</p> <p>今後の方向性としては、可燃ごみの水切りや紙ごみの資源化などの分別の徹底を市民にPRし、ごみの減量化・分別化を図ること、市直営部分の委託化、収集袋取扱事務管理及び手数料収納事務（商工会委託部分）の見直しを進めることなど、さらなるコストの削減を図っていくことが望まれる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 職員の一定人員までの順次削減（委託化）
佐久間副委員長	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
出雲委員	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
松本委員	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
村上委員	5	3	4	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
和田委員	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
委員平均	4.8	3.8	3.8	3.3	15.8	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○職員部分の委託化の推進による人件費の削減（当面できる最大の効率化）。</p> <p>○引き続きごみ処理施設の見学等を増やし、目に見える形でのPRに努め、分別の一層の徹底（水切り・紙ごみの資源化）を図っていただきたい。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○ごみ収集委託は3社に固定しているので、委託費について妥当である根拠を常にチェックしておく。公正な契約になるように。</p> <p>○ごみは市民が出すものであるから、ごみ減量に関して市民の意識が改まるよう、PRし続けていく。</p> <p>○市の直営部分の委託化について検討を絶やさないようにする。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○委託の範囲や委託料については必ずしも判断できないが、ごみ量の削減に従って作業員も減少していくことが原則であるように思われる。  
○収集袋については、歳入として確保するためにコスト管理は徹底していただきたく、商工会への委託（収集袋、処理手数料）については、そこまでくまなく販売可能とするかどうかには疑問がある。

【松本委員】

○この事業は出してしまったごみの収集に係るもので、衛生上必要性は大いにあると思う。  
○昨年、評価したリサイクル事業とごみの焼却等他にもごみ（廃棄物）に係る経費、事業は多くあり、一部をみただけでは評価できないと感じる。  
○商工会が指定収集袋取扱を委託されているため、商工会に入らないと収集袋の販売ができないなどの声が聞こえているが、市民の利便を考えると改善する余地もあるのではないかと感じる。  
○収集のルートの見直しや地域の見直しなどやれる改善を検討してほしい。  
○有料化して10年、一つの節目として大きな見直しをするチャンスかと思う。高齢者世帯以外であれば分別をきちんとできると思う。リサイクル事業と併せてコスト改善に向け努力をしてほしい。  
○新しい袋にごみを入れることに抵抗があります。何回かレジ袋として使ったごみ収集袋の発明を。

【村上委員】

○環境に配慮した循環型社会の形成と公衆衛生の維持・管理に果たすべき役割は大きく、その一環として、ごみ収集事業の必要性は大きい。分別化の推進の啓蒙にさらなる取組みが期待出来る。  
○直営事業の民間委託の方向性は明示されているが、可及的速やかな実施が待たれる。  
○予算と決算の数値の乖離に関し、透明性の高い説明が求められる。  
○民間委託業者については市内の企業としているが、競争入札等、より良いサービスの確保、効率性の向上等に資する取組みの検討が急がれる。

【和田委員】

○年々コスト削減を図りながら業務の質を向上（高齢者見守りetc.）を行っていることに力強いものを感じています。  
○しかしこの事業の最大のポイントは減量化・分別化の更なる徹底です。その意味で収集袋の原材料費高騰も考え収集袋の売値を上げ、そのことで市民の減量意識を高め、減量化を図ってはどうか（H14年有料化で大幅に減量したことを踏まえ）。  
○古紙、資源ごみetc. 委託化できるものは早急に着手が望ましい。

事業番号10 児童遊園維持管理

評価実施日： 9月 1日 (土)	担当課：都市整備部 管理課
------------------	---------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>少子高齢化が進む中、子育てを支援する側面からの必要性は認められるものの、児童遊園としての機能が失われている場所もあり、見直しが必要な時期が来ていると考えられる。</p> <p>今後の方向性としては、児童遊園を含む公園、広場全体の実態調査を実施し、児童遊園として存続させる空間のほかは、地域の実情に合わせた空間(災害対策面での強化、高齢者の健康増進器具の設置、緑化帯・水路など)として整備していくことが望ましい。その上で、管理の一本化、コスト削減、外部委託化の検討を行っていただきたい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	3	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	4	4	4	4	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 管理全体を一部署で
出雲委員	4	3	2	3	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の縮小
松本委員	5	3	2	2	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法の見直し
村上委員	4	2	3	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法の見直し
和田委員	5	3	3	2	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業内容の見直し・実施方法の見直し
委員平均	4.5	3	2.8	2.7	13	
内部評価の今後の方向性						C：抜本的な見直し

評価にあたってのコメント (評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など)
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○時間的な経過とともに、例えば児童遊園としての機能が低下乃至は失われている場所もあると考えられる。まずは実態調査をして、かつ市の公園等、広場を一元的に把握して、児童遊園、シルバー公園、コミュニティ広場、災害時避難場所等に整理をし管理するというような抜本的な見直しが必要であると考える。</p> <p>○その上で外部委託を検討する。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○何かあった時の小規模の避難場所になったり、緑被率のための空間など、遊園としての利用のほかに必要な場所である。</p> <p>○都市整備部で貸出等も含めた管理全体を行うべきである。</p> <p>○遊具は利用する子どもの年齢(低年齢の幼児用)に応じたものを設置すべきである。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○基本的には維持管理がきちんと行われればよいという認識が伺えるがそれはそれとしても、今後49か所すべてを存続させていくべきかについては疑問がある。  
○また、利用の実態が分からず、評価をすることが困難な状況もある。49か所を区分けすることには抵抗があると思われるが、すべてを同じに扱っては、存続そのものを目的としているという印象を与えかねないのではないかと思われる。  
○子どもはこれから急速に減るので、ニーズからいえば必然的に縮小しなければならない中で、どのように存続できるかを考えた方がよい。

【松本委員】

○宅地開発で市の構想以外で管理しなければならない児童遊園に対して、市として公園遊園全体を把握していれば申し入れることが可能かと思う。必要な場所には児童遊園を、必要ないのであれば道路、緑地、防災倉庫の配置を依頼するなど、計画性がほしい。  
○除草・清掃の費用が年により増減しているので、なるべく均一になるよう、緑の管理の計画も必要と感じる。  
○児童遊園の廃止がないという前提であれば管理の方法を見直して合理的な管理が必要であると感じる。苦情(クレーム)は視点をチェンジするチャンスととらえてほしい。

【村上委員】

○子育てを側面から支援する仕組みとして、必要性は認められる。  
○外部委託内容についてはコスト面、効率面から将来的には全面委託も検討すべきと思われる。  
○子ども同士、親同士の交流の場としての位置づけに加え、高齢者等との交流の場としての位置づけ等機能面の高度化が求められる。

【和田委員】

○市の人口が長期的にも横這いと高齢化が見込まれる。この状況でこの状況で市の公園・遊園地の在り方を抜本的に見直すべき時期と考える。  
①老人憩いの場の性格を持たせる。  
②地域での活用（避難場所／集会等）  
③施設修繕も含め委託の拡大(市は監視・チェック業務に特化)  
④これ以上増大させない

事業番号11 街路灯維持管理

評価実施日： 9月 26日 (水)	担当課：都市整備部 交通対策担当
-------------------	------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>事故や犯罪の防止等のため、市民の安全・安心には欠くことのできない事業であるが、電気料の値上げなどにより、事業費が増大し続けると見込まれる。</p> <p>今後の方向性としては、LED灯の導入、球の一定期間での交換、必要以上に照度がある個所の取り外し等の経費節減策、及び歳入を確保できるようなアイデアの導入も試みていただきたい。電気料の値上げは昭島市に限った問題ではないので、他の市町村や企業と協力し消費電力の少ない機器の開発委託をするなど、コスト削減は喫緊の課題である。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
佐久間副委員長	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
出雲委員	5	3	4	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
松本委員	5	5	4	4	18	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 新たな事業展開
村上委員	5	5	4	4	18	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
和田委員	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
委員平均	5	4.2	4	3.5	16.7	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○設置場所の環境変化に能動的に対応する（取はずしや移設）。</p> <p>○他市の試行状況やその他情報入手に努めコスト削減に努力をしてほしい。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○LEDに変えると、まだコスト高となるが、エコや資源の観点からも考え、少しずつLED化を進めるべきである。</p> <p>○宅地開発等で寄付を受ける街路灯についてはLED器具を設置するよう指導していくべきである。</p> <p>○新たな施設ができることなどで街路灯をなくしてもいいような箇所について、職員や市民から情報を得るようにする。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○基本的には受け身の事業展開となっており、今後事業費が増大し続けることが見込まれる。  
○市民の安全・安心に関わることであり、仕方がないと割り切ることも可能だが、やはり一定距離に一定の照度が保たれるという原則に従って管理されることが望ましく、街路灯の一定期間ごとの撤去や個別に修繕するのではなく、一定の期間でやるなどをしていかないと、事業費の抑制及び現状維持は難しい。

【松本委員】

○コスト削減については、対処のしようがない八方塞がりの事業であるが、東電の値上がりにより経費拡大で厳しいのは他市も同様である。数市一緒に東電の値上げについてのアクションとして訴訟を起こすなどして、東電の値上げに無条件に屈したのではないとPRしても良いのでは。東電に関しては市民も怒っている。  
○また、値上げ分をどうやってしのぐのか。例えば新たな事業展開を考えてみては。市が困っているのであれば市民に助けを求めるしかない。例えば小学校区の防犯灯に新入学生の手形を取り1年間1200円（100円/1か月）で飾る。1年後に子どもにプレゼントするなどして値上げ分を相殺するなどのアイデアを考え、事業化してみるなど。民間が望めない公共は自治体がやるしかないが、自治体の破産は市民が最も恐れるところなので市民に出資してもらおうなど、研究してほしいと思った。

【村上委員】

○事故や犯罪の防止等、安寧な市民生活の維持に必須の事業である。  
○コスト低減に向け要交換が生じた際にはLED電球に換える等、漸次取り組んでいる点ではコストを意識した事業展開が実施されており、今後の取り組みが期待される。  
○防犯協会、交通安全協会等と連携した効率的な設置経費の軽減や環境変化への対応策の策定等に外部の考えを取り入れて取り組むことが期待される。

【和田委員】

○市民生活の安全・安心にとって欠かすことのできない事業である。しかしコスト面で1基当たり年間維持費は間もなく1万円を超える。現状の維持管理では行き詰る。  
○節電にむけて、LED化を近隣の市と共同で技術開発を関係する会社や研究機関に委託し、コスト削減を早急に進めていただきたい。

事業番号12 木造住宅耐震補助事業

評価実施日： 9月 29日 (土)	担当課：都市計画部 都市計画課
-------------------	-----------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>市民の安全を守るといった観点から必要性が高い事業であるといえるが、補助件数が少なく（H23実績として耐震診断8件、改修2件）、現状では偏ったサービスという印象を与えかねない。</p> <p>今後の方向性としては、診断・改修によってどの程度のリスク回避につながるかを市民に積極的にPRしていくこと、自己負担分への融資策など、市民が利用しやすいサービスとしていくことにより、東日本大震災の記憶が薄れないうちに、市民の減災に対する意識を高め、災害に強い街づくりを進めていただきたい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	2	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法を見直し
佐久間副委員長	4	3	4	2	13	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の拡大・充実
出雲委員	4	3	3	3	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法の見直し
松本委員	4	4	3	4	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 大幅な変更は必要なし
村上委員	5	5	2	2	14	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業規模の拡大・充実
和田委員	5	2	2	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法を見直し
委員平均	4.5	3.5	2.7	2.7	13.3	
内部評価の今後の方向性						A：成果拡大に向けて実施方法を見直し

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○私有財産と公的負担の関係で限界がある施策であるが重要な事業である。          ○他市の状況も踏まえ、①補助金額の見直し検討 ②PR方法の工夫          A：無料相談の回数増 B：防災訓練等を通じたPR等          と新たな説明（担当部署）会実施検討（自治会など）</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○防災に対する意識向上のためにも必要な事業で、東日本大震災の記憶が薄れないうちに力を入れて行うべきである。          ○市民本人の負担がある事業なので無理強いはいけないが、身の危険にかかる事業なので、7,000戸の市民に対し、よくPRして事業の速度を速めるようにしていくべき。          ○本人負担に対する措置（無利子の融資など）も考えるべきである。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○原則として申請を受けて手続きをするものであり、むやみに補助件数が増えればよいというものではないが、現状ではやはりささやかな効果となっている。きわめて偏った方向けのサービスとなつては、逆に事業の意味が問われてしまうと思う。  
○無料相談会を増やしてみるとか、診断をした場合にはどのようなリスクの回避につながり、しなかった場合どのようなリスクがあるのかを具体的に示すなど、啓発にもう少し努められると良いと思う。

【松本委員】

○南海トラフ、立川断層、多摩直下型等の大地震が予想される中、できれば市民に活用していただきたい補助金制度である。23年度でも予算全額が使われていない状況の中、まずは予算全額消化を目指してやってほしい。  
○自助の範囲との意見もあるが、市民の命を守ることは自治体の使命であると考えられる。友好的な相談窓口対応を考え、国交省や国の機関のパンフレットを多めに取りよせる → 市で作るなどの工夫をし、PRに努めてほしい。  
○減災の心構えなどの周知もイベントなどで防災課、消防署と進めてほしいと思う。ゴミ収集車でのアナウンスやカラーチラシの各戸配布など市で使えるPR方法は積極的に使ってほしいです。

【村上委員】

○私有財産に公的資金を投入することに一定の限界を設けることは適切であるが、震災発生時の被害拡大の防止の観点から事業の重要性は認められる。  
○実績が極端に少なく、市民への周知方法に問題なしとせず他部署等の市が保有する資源を有効活用し、ターゲットを絞った周知策の検討と実施が望まれる。  
○診断申込手続きの簡素化、改修費に関わる借入金の利子補給等、利便性を確保し、市民生活の安寧を図る観点からの取組も期待される。

【和田委員】

○現在全国的に地震・津波と防災の在り方が根本的に見直されている。その中でこの事業は市にとって/市民にとって必要である。  
○しかし現行の実施方法は診断/改修にしてもその方法はあまりに硬直的である。（ex. 市内業者限定/耐震診断の総合評点1.0以下の工事不可etc.）市民にとってもっと実施しやすい方法（申請も含め・利子補給）へルールの幅を広げることが求められる。

事業番号13 中学生海外交流事業

評価実施日： 8月 20日 (月)	担当課：学校教育部 庶務課
-------------------	---------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>現時点での成果をや結果を推し量ることは難しいが、国際感覚を培うのに益々必要になってくる事業であるといえよう。</p> <p>今後の方向性としては、参加者の自己負担を増やし派遣人数を増やすなど、他市の状況も参考に受益者負担の面での検討や、帰国した派遣生・外国人生徒の受入れによって市内中学生全体の国際感覚養成、語学力のレベルアップ等、カリキュラム設定や、実施方法の工夫にさらに心がけられたい。世相を反映して女子生徒の比率が高くなっているが、男子生徒の割合を増やす働きかけも必要であると考えられる。経済的な問題のみで派遣生になれないという生徒が出ないように、減免制度のPRに努めていただきたい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	3	4	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 参加者が事後の活用を考える
出雲委員	4	4	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
松本委員	5	4	3	4	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
村上委員	5	3	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
和田委員	5	4	3	4	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 成果拡大に向けて実施方法見直し
委員平均	4.6	3.8	3	3.5	15	
内部評価の今後の方向性						E：現状を維持

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○国際的視野に立った人材の育成は、今後、益々、必要。          ○保護者負担について ①保護者の意思、②他市の状況、③救済制度のPR 拡大の対策を図る。          ○受入れ体制について 他校も含めて相応な人数の確保に努めてもらいたい。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○中学生が国際感覚を養うのに必要な事業である。          ○参加した中学生が20歳を過ぎるころまでは市の事業に貢献してくれるような事後の活用を考える。          ○個人負担は、中学生に直接要した経費の60%くらいは負担してもらってもよいのではないか。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○必ずしも実施していない自治体もある中、20名という多数の派遣をされていて、これからも継続してほしい事業内容となっている。  
○但し、プロセスではなく結果や成果として見た場合には、自明ではなく、また、コストについても妥当性を判断することが難しい。  
○選考については、個人的には公平性よりもさらに競争的にする（英語の資格試験を基準とするなど）のが望ましいのではないかと思われる。

【松本委員】

○派遣20名は適切かどうかは判断できないものの、ホームステイ家庭のことを考えると人数はやむを得ないといえる。  
○フレンドシップ協会から独自運営に変えたことにより、半分近いコストが削減されているので、効率性も高く評価している。  
○成果発表により学校のPRは実施年と翌年の2回計画し、男子の参加を促す工夫などをしてほしい。  
○最初の交流生が20歳を迎える今年、同窓会などの企画をして「国際的視野に立って活躍する人材の育成を図る」という趣旨通り、目標が達成されているか確認することも大切だと思う。  
○減免制度があることのPRもおこたりにくお願いしたい。

【村上委員】

○事業の必要性、重要性は高い。  
○選考の透明性、公平性の確保、当該生徒の自主性の発揮を促し、培うカリキュラムの設定等、実施方法に更なる工夫が求められる（語学学校からのノウハウの提供によるカリキュラムの充実等）。  
○市内中学生の国際性や英語力向上等についての「見える化」に工夫が求められ、当該本人のレベルアップに留まらない全体のレベルの底上げ策の策定の検討も必要と思案。  
○個人負担については減免措置もあるが、融資制度の創設について検討してもらえたらと思う。

【和田委員】

○この事業は長期人材育成であり、現時点での効果算定をもととするのは難しいが、今後の日本の為にも事業の継続が望ましい。  
○今年度、男女の派遣者が男子4人、女子16人は少々気になる。実情を反映しているが、男子が多くなる働きかけが必要と考える。  
○各年度ごとの派遣者の会を作り、末永く派遣の持つ効果を拡大させるよう、この点での学校との協働を期待したい。

事業番号14 学校給食(調理場・自校給食校)運営

評価実施日： 9月 1日(土)	担当課：学校教育部 学校給食課
-----------------	-----------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>教育現場での食育の取組みや、近年の職員の臨時職員化や、民間委託でのコスト削減への取組みは評価できる。</p> <p>今後の方向性としては、施設の老朽化に対して長期的視野に立ち具体的な取組みを進める、残菜について食育教育の中で問題化する、更なるコスト削減に向けて自校給食校だけではなく、調理場も含めた委託の拡大を図るよう検討を進める等の取組みが考えられる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	4	4	17	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法見直し
佐久間副委員長	4	4	4	3	15	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法見直し
出雲委員	4	3	3	3	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法見直し
松本委員	5	3	3	3	14	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法見直し
村上委員	3	2	3	2	10	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施方法見直し
和田委員	5	3	3	2	13	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 コスト改善に向けて実施方法見直し
委員平均	4.3	3.2	3.3	2.8	13.7	
内部評価の今後の方向性					E：現状を維持	

評価にあたってのコメント (評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など)
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○小中の大切な時期の「食」を預かる重要施策。          ○改善に取組み効率化も図られているが、尚一層、委託方式への切替等で効率化を進められたい。          ○保護者を含めて給食費の実態をPRし、食育や残菜といった問題にも理解を得ること。          ○新しい担当を置き検討し、運営審議会等を通じて長期展望して方向性を見出してほしい。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○調理場の老朽化に伴い、施設の新設を考える際に、建て替えなのか、自校方式にするのか、共同・自校双方併行していくのか等、検討する部署を早く設置すべきである。          ○給食は給食費のほかに500円近い経費がかかっていることをもっと市民にPRすべきである。          ○自校方式の運営に民間活力の導入をもっと推進すべきである (新しくなった時の調理場の委託、小学校の委託)。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○施設の老朽化の問題があるので、共同調理場をどのように運営していくのか、資金の調達を考える上でPFI方式は検討された方が良いのではないかと。  
○委託も含めて、コスト面で下げていき、保護者の理解を進めていくことが、今後給食費の未納問題に対応するために良いと思われる。

【松本委員】

○自校給食の民間委託が2校になり、人件費の面でのコスト削減ができてきている点は評価できる。  
○少子化になり、学校給食の食数の減少が見込まれるので、その対応と共同調理場の改築または建て直しを見通す姿勢がそろそろ欲しいところである。  
○残菜問題は学校の努力だけでなく、食育教育で解決の道を図ってはどうか？  
○中学校3校が民間委託されれば、次は共同調理場の民間運用を考える時期である。  
○ランチBOX事業をしている業者の選定をそろそろ考えるべきかと思う。  
○直営でやるのであれば建物の見直しを含めての検討をし、さらなる努力が必要。

【村上委員】

○スケールメリットの追求、更なるコスト削減に向け、複数自校方式の統合と共同調理場も含めた民間委託についての検討が急がれる。  
○自校給食サービスを受けられる生徒と受けられない生徒との間に教育や利便性に差異が出ない取り組みの検討が待たれる。  
○現業部門としての少子化対策等、行政の効率性、有効性についても積極的な発言や提言を通じ、市行政全般への貢献をしていただきたい。

【和田委員】

○食育という重要な事業を地道に内容を向上させながら、コスト削減を図ってきたことは評価される。  
○しかしコスト削減は市財政から見て今後も大いに対応していかなければならず、委託拡大、職員の臨職化、残菜の削減など課題は多い。さらなる効果が求められる。  
○また、10年先を見て現状の自校方式/共同方式そのものの見極めも必要と考える。

事業番号15 市民会館管理運営

評価実施日： 10月 4日 (木)	担当課：生涯学習部 市民会館・公民館
-------------------	--------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>市民の文化活動及び福祉増進を目的とした市民会館と、社会教育目的の公民館が併設しているという現状である。厳しい財政状況の中、コスト削減のために市民会館部分の委託化を検討しているが、公民館部分は法に基づき市が直接運営する必要があるため、管理運営が難しくなってきた。</p> <p>今後の方向性としては、歳入確保策として市民会館大ホールの稼働率を上げるために、使用料・利用区分の見直しを行うこと、コスト削減策として引き続き、市民会館部分に指定管理者制度の導入を含めより良い運営方法を検討することが考えられる。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	5	4	4	3	16	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 成果拡大・コスト改善に向けて実施方法を見直し
佐久間副委員長	4	3	3	3	13	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 成果拡大に向けて実施方法を見直し
出雲委員	4	2	3	2	11	□拡充 □一部改善 ■縮小 □廃止・休止 □現状維持 事業規模の縮小
松本委員	5	2	3	2	12	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 実施方法の見直し
村上委員	4	2	2	1	9	□拡充 □一部改善 □縮小 ■廃止・休止 □現状維持 民間で行うべき
和田委員	5	3	3	2	13	□拡充 ■一部改善 □縮小 □廃止・休止 □現状維持 コスト改善に向けて実施方法を見直し
委員平均	4.5	2.7	3	2.2	12.3	
内部評価の今後の方向性						B：コスト改善に向けて実施方法を見直し

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○大ホールの稼働率を上げるため改修を機会に積極的な工作或PRが必要（特に休業期を有効に活用する）。</p> <p>○コスト削減のため、委託料の見直しを更に進めるほか、人件費についても検討されたい。</p> <p>○適正団体であるか、登録団体の見直しも適宜行うこと。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○市民会館と公民館が併設していることに、管理運営の難しさがある。</p> <p>○公民館は法に基づいて市が直接管理運営する必要があるが、市民会館は指定管理者制度を活用した方が、幅広い活用ができると思われる。</p> <p>○公民館、併設だから難しいと始めから考えずに、指定管理者制度に劣らない方法を検討すべきである。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

○一般財源の割合が高すぎるのではないかと思う。全額利用者負担とする必要はないが、一般財源の割合を低くする努力がされるべき。その為には委託コストの削減及び使用料の値下げが必要だと思われる。そして事業規模全体も縮小されるべき。  
○また、将来的には市として施設の性質などに応じて、どの程度の負担を求めることが適切・妥当かというような指針を作成される必要があるのではないかと思う。

【松本委員】

○公民館運営に関しては十分利用もあるように思えるが、各部屋の利用率をみないことには評価ができない。また、限られた団体しか使えないのであれば登録団体を増やす努力も必要かと思う。  
○コストの多くを占める大ホールの稼働率をあげるべく使用料の見直しをしてはどうかと思う。使いやすい使用料、使用方法を新しく考え導入するのも大規模改修後のチャンスかと思う。ホールの全日使用料があるのに備品の全日使用料がないのが納得できないので、料金設定を利用者に分かりやすくする必要がある。文化事業協会の事業を有効にするためのアドバイスを強く。ロビー貸し出し、前庭貸し出しの検討も必要。

【村上委員】

○市民会館については公民館との併設のメリットが具体的に見られない現状においては、利用率、収益性の向上による自己財源の確保に向け、指定管理者制度の導入について具体的な検討、実施が待たれる。  
○イベントの開催、芸能人の招致等の決定の仕組みの透明性の確保と他市と同様のイベント等の開催から脱却し、例えば福祉事業所の利用者の倶楽部や学校の倶楽部の発表会、更には、集客力が期待される将来性のある音楽家等の発掘の場としての位置づけの確立等といった昭島市としての特色や独自性のある取組の実施が期待される。

【和田委員】

○市民会館全体を維持運営するために一般財源から毎月500万円が支出されている。赤字財政の中、運営費削減は喫緊の課題である。  
○対策案 ・小ホールは本来の貸出専用化（公民館機能としてのホールはリハーサル室or勤労商工市民センター体育室etc. の活用） ・大ホールロビーの有効活用 ・会館利用者（主に公民館利用者）の駐車料有料化 ・会館利用者（主に公民館利用者）の夏冬エアコン代 ・指定管理者制度の導入

事業番号16 拝島公園プール管理運営

評価実施日： 9月 29日 (土)	担当課：生涯学習部 スポーツ振興課
-------------------	-------------------

現状と今後の方向性に関する意見
<p>夏季期間中、小学生や幼児の利用があり一定の役割を果たしているが、施設の老朽化が進み、安全性に問題があるのであれば運営の継続は難しい。</p> <p>今後の方向性としては、廃止を視野に入れ、跡地の利用について検討を始めるべきである。その際、説明会を持つ、学校プールの開放をする、跡地にプールに代わるような水辺を作るなど、近隣住民の理解を得られる形での実施が望ましい。</p>

個別評価	① 必要性	② 妥当性	③ 有効性	④ 効率性	合計	今後の方向性
座間委員長	4	3	3	2	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <b>例えば地元中心の説明会を持つなどていねいに</b>
佐久間副委員長	4	3	3	2	12	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <b>大幅な変更は必要なし</b>
出雲委員	3	3	3	1	10	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <b>施設が利用継続できない</b>
松本委員	5	4	4	3	16	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <b>運営に危険を伴う施設と判断</b>
村上委員	4	3	2	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <b>時限設定が必要</b>
和田委員	4	3	2	2	11	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <b>プール廃止で水の公園化</b>
委員平均	4	3.2	2.8	2	12	
内部評価の今後の方向性					C：抜本的な見直し	

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）
<p><b>【座間委員長】</b></p> <p>○小学校プールの利用に結びつける等の方向のもと、廃止もやむを得ない。          ○その際、代替地の活用について十分配慮すること。</p>
<p><b>【佐久間副委員長】</b></p> <p>○昭島市のように市の区域広くかつ多摩川が安全に水遊びができない状況では、廃止することは難しい。          ○小規模な修繕をしつつ、できるだけ延命させていく。          ○拝島公園プールの中を流れている小さい川を利用して、水辺のある公園にすることを将来考える。</p>

評価にあたってのコメント（評価理由の詳細、改善提案や助言、感想など）

【出雲委員】

- 利用者は比較的多いが、市として施設の安全性に不安がある中で、運営を持続すべきではない。
- 具体的にいつ、どのように廃止し、跡地の問題の検討を始めるべき。

【松本委員】

- すでに民間に運営を委託しており、コストの削減は望めない。施設の傷みも目に見えない部分に及んでおり、かなり不安である。
- 利用者の8割が近隣であるという地域に親しまれた施設ではあるが親しみあるという感情は人の郷愁である。郷愁と安全ならば行政は安全を選ぶべきと考える。
- 学校プールと運営委託業者とのドッキングをはかったり、市民プールの利用割引券などの発行して、プールが廃止されたのちの西部地域の住民への利便をはかってはどうか。
- 廃止跡地利用を地域住民参加で配慮してほしい。

【村上委員】

- 小学生、幼児の利用が多く、必要性は認められるが老朽化に伴う重大事故発生の未然防止の観点から設備・機器の稼働状況を勘案して、事業継続については時限設定が必要であり、利用者、近隣住民の了解の取り付け等に工夫した取組が求められる。
- 休止乃至廃止までの間は委託業者のアイデア等を取り入れた利用者本位の運営に取り組むことが望まれる。

【和田委員】

- 開催日数は年で47日間である。これは365日の13%である。320日近くが閉鎖されており、土地の有効利用としてはもったいない。
- 毎日100人の利用者があり、一定の役割を果たしているがその中心は幼児や小学校中学年層までである。
- このことから水遊びのできる安全な流れをもった変化のある水路があったり、傘シャワーetc. がある水の公園化にし、隣の大師公園と一体化を検討してはどうか。